

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和5年度) 2023年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	12	11	月	16:00	19:00	明治記念館	2
活動名称	国土交通大臣賞の表彰式に出席					報告者：牛島	

<活動目的>

第43回「全国緑の都市賞コンクール」において当クラブは国土交通大臣賞を受賞いたしました。その表彰式が明治記念館で開催され、代表と随員で出席してきました。この受賞も会員皆様のご協力の賜物と感謝し、今後の活動の励みにしていきたいと思っています。

<主な活動内容>

- ・ 15時からリハーサルを行い、四重奏の演奏後、16:20に国土交通大臣、環境大臣が着席、
- ・ 16:30に佳子内親王がご来場されました。
- ・ 開会、主催者挨拶の後、佳子殿下は「受賞者に敬意を表します」とのお言葉をのべられました。
- ・ 祝辞のあと、齋藤国土交通大臣の賞状授与で当代表も登壇されました。
- ・ 閉会后、18時半から佳子殿下ご臨席のもと交流会が始まりました。
- ・ 受賞者の中から、活動の説明をすることになっていましたが、当クラブが一番バッターとしパネルの説明を指名されており、代表と共に当クラブの活動内容を伝えました。
- ・ 当方からは「子ども達や小学校の生徒の自然体験により、みな元気になること、特に障害児等か見違えるほど元気になる事などをお話しし、このような大切な森を残したい。ご支援を賜りたい」と伝えることができました。
- ・ 佳子殿下からは「何年ぐらい活動されていますか」、「子ども達にとって森は大切ですね。会員の皆様によろしくお伝えください」との事でした。
- ・ 交流会では他団体との交流、名刺交換を行いました。特に、小田急下北沢の地下化による運営管理をしている「シモキタ園芸部」との運営体制の情報交換や守谷市市長、結城里山の会との活動に関する情報交換を行い、今後の連携などをお願いしました。
- ・ また、都市緑化機構の所轄官庁である国交省都市公園緑地室長、環境省環境保保健部環境安全課長と鶴ヶ島の市民の森の保全やまちづくりについて、意見交換を行い、貴重なご意見をいただきました。

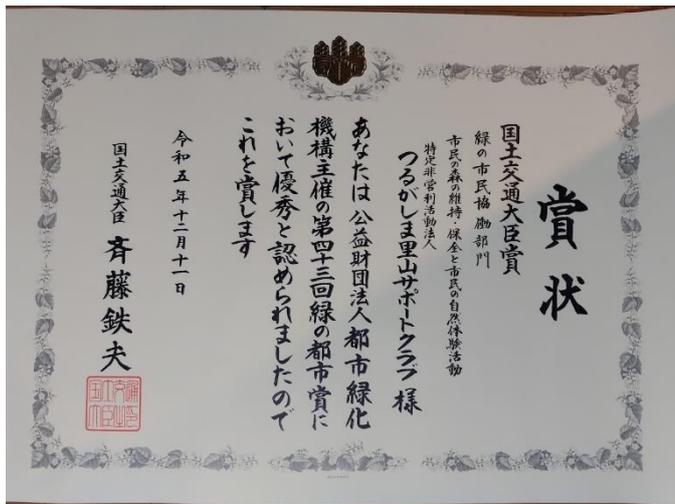
<課題・評価>

- ・ 当式典は、11日夕刻のNHKニュースでも放映されたようです。
- ・ 翌日12日の読売新聞朝刊、産経新聞、ANN NEWSにも掲載されています。
- ・ 全国規模の「緑のコンクール」で受賞したことは誠に荣誉ある団体として誇りを持つことができます。大いにこの業績をアピールし会員を勧誘しましょう。
- ・ これを機に市民、企業、行政と連携し、森を守る仕組みも考えていきたいと思えます。
- ・ 後日、佳子殿下との記念写真や交流の写真が送られてくるとのことです。受領後、皆さんにご紹介します。

<里山参加会員>

小澤邦、牛島、

## <活動写真>



### 読売新聞

佳子さま、みどりの『わ』交流のつどい出席...「尽力の方々に深く敬意を表します」

秋篠宮家の次女佳子さまは11日、東京都港区の明治記念館で行われた「第6回みどりの『わ』交流のつどい—都市の緑三賞表彰式」に出席された。「みどりの『わ』交流のつどい」であいさつされる佳子さま(11日) 緑化活動に貢献した企業や自治体の代表者らに賞状が贈られ、佳子さまは、「みどり豊かな街づくりのために力を尽くしてこられた方々に、深く敬意を表します」と述べられた



## 緑豊かなまちづくりに「深く敬意」 佳子さま、都市の緑三賞表彰式ご臨席

秋篠宮ご夫妻の次女、佳子さまは11日、明治記念館(東京都港区)を訪れ、緑豊かなまちづくりに貢献する市民団体や企業を表彰する第6回「みどりの『わ』交流のつどい—都市の緑三賞表彰式—」に臨席された。

佳子さまは式典のお言葉で、「みどり豊かなまちづくりのために力を尽くしてこられた方々に、深く敬意を表します」と述べられた。

式典は都市緑化機構と第一生命財団が主催。「緑の都市賞」「緑の環境プラン大賞」「屋上・壁面緑化技術コンクール」の各賞を受賞した団体の代表者が賞状を受け取ると、佳子さまは拍手を送られていた。式典後は、受賞団体の活動を紹介するパネル展示をご覧。都市緑化の担い手を育成する講座などについて説明を受け、熱心に質問されていた。



## ANN NEWS

### 佳子さま みどりの「わ」交流のつどいに出席

秋篠宮ご夫妻の次女・佳子さまが「みどりの『わ』交流のつどい」に出席されました。佳子さま:「みどりを通じて人と人がつながり、今までにないアイデアが生み出されていく様子が目に浮かびます」佳子さまは、緑豊かなまちづくりに貢献した市民団体などの表彰式に緑の洋服で出席し、お言葉を述べられました。その後、展示を見ながら内閣総理大臣賞を受賞した東京・世田谷区の「シモキタ園藝部」から、取り組みについて説明を受けられました。この団体は小田急線の線路跡地の緑地で活動していて、佳子さまは団体の園藝学校について、「どんな目的でスタートしたのですか」などと質問されていました。受賞者は「担い手の育成のため有料で開催しているが、定員を超える応募がある」と答えていました。

(壇上で右から佳子殿下、斉藤大臣、一人おいて小澤代表です)

